

よねざわ工業

事業継続力強化計画に認定

コンクリートブロック製造のよねざわ工業（本社・恵庭、米沢稔社長）はこのほど、中小企業庁の事業継続力強化計画の認定を受けた。災害発生

時に社屋近隣に住む社員が様子把握する体制づくりや、自家発電、地下水をくみ上げる設備の導入などを推進。防災・減災に関する体制を整え、災害から地域を守る企業を目指す。

中小企業を取り組む防災・減災対策に関する計画を経済産業大臣が認定する制度。認定された企業は、低利融資や信用保証枠拡大といった金融支援、防災・減災設備導入時の税制措置、ものづくり補助金などの優先採択

性別や役職、年齢に関係なく全社的に災害への意識を高めている

災害から地域を守る企業へ

といった支援を受けることができる。

同社は、2018年9月に発生した北海道胆振東部地震をきっかけに、事業継続計画（BCCP）を策定。災害など緊急事態の発生時でも被害を最小限に抑え、事業を継続・復旧する体制を整えた。

BCCPを実効性のあるものにするため、減災・防災対策に焦点を当てた事業継続力強化計画を19年11月に策定。同12月12日に認定を受けた。

計画期間は20年2月から23年1月まで。災害時に本社と札幌支店の近隣に住む社員が状況を確認

し、停電時でもコンクリートブロックの製造機器を稼働できるよう自家発電を導入する。

このほか、地下水をくみ上げる設備、工場の浸水被害防止、パソコン、FAXなどの使用に向けた事務用発電機の設置などを盛り込む。

企画室の浦安昭宏室長は「生産の拠点は恵庭市、営業の拠点は札幌市であり、それぞれの地域社会の安全を守る必要がある」と自社の役割を認識。その上で「自分たちの事業基盤、足腰を強くできる」と話す。

BCCPと今回の認定計画を有効活用し、災害に備えた訓練を継続することで企業力の強化に励む考えだ。

